様式第１号の２（第４条、第７条関係）

令和○○年度鳥取県障がい児者自発的活動支援事業補助金事業計画（報告）書

区分（２）地域づくり交流促進事業

１．団体について

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 団体名 | △△の会 | | | | | |
| 所在地 | 〒６８０－８５７０  鳥取県鳥取市東町１丁目２２０ | | | | | |
| 電話番号  （ファクシミリ） | (○○○○) ○○－○○○○  (○○○) ○○○○－○○○○ | | | メール  アドレス | | ○○○○＠○○○○ |
| 代表者名 | 鳥取　太郎 | | | | | |
| （共催の場合）  共催団体名 | ▲▲クラブ（代表　岩美　友子） | | | | | |
|  | | | | | |
| 団体人数  ※全体 | ●●人 | | ※性質ごとの  　人数内訳 | 障がい児者　　　　　：　　　　　●●人 | | |
| 保護者　　　　　　　：　　　　　●●人 | | |
| 支援者　　　　　　　：　　　　　●●人 | | |
| ※団体ごとの  　人数内訳 | | （代表団体）△△の会　　　　　　　　：　　　　　●●人 | | | |
| （共催団体）▲▲クラブ　　　　　　　：　　　　　●●人 | | | |
| （共催団体）　　　　　　　　　　　　：　　　　　　　人 | | | |
| 支援者の概要・役割  ※全体 | 例）通常活動での障がい児者の活動の補助、会報の発行、交流会や総会の運営、本人活動の運営補助 | | | | | |
| ※障がい児者・保護者の数を  １としたとき、支援者の数が  ３を超える場合、その理由 | | 例）通常活動時からひとりに対し４～５人のサポートが必要な重度の身体障がい者の会員が数名おり、そのサポートのためのボランティア会員の数が多いため。 | | | | |
| 主な障がいの種類  ※全体 | 例）  身体障がい | | 団体構成員の居住地  （市町村）の範囲　※全体 | | 例）  鳥取市、米子市、岩美町 | |
| 主な活動内容 | （代表団体）  例）月１回の情報交換会の開催、年６回の交流会の開催、年１回の総会の開催 | | | | | |
| （共催団体）  例）年２回の研修会の開催、年１回の総会の開催、年１回の会報の発行 | | | | | |

２．事業について

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | | 例）△△の会　お菓子づくり教室 | | | | | | | | |
| 形式（ア～エ）  ※複数選択可 | | ア．レクリエーション事業　　　イ．教室開催事業  ウ．ピアサポート事業　　　　　エ．ボランティア事業 | | | | | | | | |
| 事業  概要 | 目的 | 例）自分の手で料理をつくる経験をさせることで本人の自信や積極性を育む。また障がい者と健常者が協力して料理をつくることで、互いの理解促進と交流を図る。 | | | | | | | | |
| 日時 | 令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日 | | | | | | | | |
| 場所 | ▲▲センター（▲▲市） | | | | | | | | |
| 概要 | 例）障がい者と健常者の混合班でオリエンテーションのゲームおよび調理を行う。講師には▲▲協会の因幡次郎氏ら計●名を招く。 | | | | | | | | |
| 参加者数  （実数）（見込） | | ●●人 | | | | ※内訳 | | | 実施団体構成員（共催含） | 非構成員 |
| 障がい児者 | | | ●●人 | ●●人 |
| 保護者 | | | ●●人 | ●●人 |
| 支援者 | | | ●●人 | ●●人 |
| 健常者（注） | | |  | ●●人 |
| （注）障がい児者との交流を目的として参加する健常者 | | | | |
| 支援者の役割等 | | | | 例）前日準備、当日の活動の障がい者の補助 | | | | | | |
| 非構成員の概要等  （障がい児者、保護者、支援者について） | | | | 例）会員外の障がい児者とその家族 | | | | | | |
| ※参加する障がい児者の数が全体の３割未満  または７割を超える場合、その理由 | | | | | | | |  | | |
| ※参加する健常者の数が全体の３割未満  または７割を超える場合、その理由 | | | | | | | | 例）公募を行ったところ想定以上の応募があったが、企画の工夫により交流は可能と判断したため、参加者を調整せずに事業を実施した。 | | |
| 事業に参加する障がい児者の  居住地（市町村）の範囲　※全体 | | | | | | | 例）鳥取市、米子市、北栄町 | | | |
| 【実績報告時に記載してください】  ※事業に参加する障がい児者の  居住する市町村が複数でなくなった  場合、その経緯・理由等 | | | | | | | 例）開催２ヶ月前に参加募集を行い、名簿のとおり参加者を把握したところだが、開催前日、北栄町からの参加者２名より体調不良のため欠席する旨の連絡があった。 | | | |
| 健常者の  参加の形式  ※あてはまるものに「○」をつけてください。  （複数選択可） | | | ア．公募に対して応募した者  イ．学生サークル、学校等のクラス、自治体の子ども会など、短期間での入れ替わりが想定される団体等に所属する者  （健常者が所属する団体等の名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ウ．自治体の町内会、婦人会、保護者会など、地域振興や住民の親睦などを目的として活動している団体等に所属する者  （健常者が所属する団体等の名称：△△地区子ども会　　　　　　　　　　　）  エ．その他 | | | | | | | |
| 【エの場合】  参加の形式（具体的に） | | | | |  | | | | | |
| 【ア～エすべてについて】  この参加形式とする理由 | | | | | 例）ア…所属等を限定せずに交流したいと考えたため  例）イ・ウ…△△地区では通常活動も行っており、この機会を利用して住民との親睦を深めたいと考えたため | | | | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業目的を達成のために講じる工夫等 | 工夫等の内容 | 【申請時】予想される効果  【報告時】工夫等による効果 | 【報告時】次回に向けた  反省・検討など |
| 例）公募を行うにあたり、ＨＰへの情報掲載や自治会や市役所に情報提供を行った。 | 例）健常者の参加者は多くなったが、通常活動の際から協力されている方が多かった。 | 例）それまで交流がない方にも参加してもらえるよう、情報提供先に学校を加えるなどの工夫をしたい。 |
| 例）△△地区の子ども会に参加を呼びかけ、地元の児童や保護者と交流した。 | 例）普段見かけることはあったが交流はしていなかったという児童や保護者もいたが、事業をとおして会員とも仲良くなれたようだった。 | 例）交流という点では成功だったと思う。次回は障がい特性などについてより知ることができるようなオリエンテーションを考えたい。 |
| 例）健常者と障がい者の混合班でオリエンテーションや調理をしてもらった。 | 例）オリエンテーションでは協力して作業できていたが、調理では健常者の参加者が作業を進めてしまう場面が見られた。会員も遠慮してしまっているようだった。 | 例）障がい者の参加者も多くの調理工程に参加できるよう、調理手順の分担をある程度決めるなどの工夫をしたい。 |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業の主な日程（見込）（実績） | 日時 | 内容 | 主な経費 |
| ○／○ | 前日準備（資料印刷、会場準備） | 役務費（印刷代）  使用料（会場・コピー機代） |
| ○／○ 10時 | 開会 | 役務費（ボランティア保険料） |
| 10時5分  ～11時45分 | オリエンテーション  （班決め・自己紹介をかねてゲーム） | 需用費（文房具、スケッチブック等） |
| 11時45分  ～13時 | 昼食準備・昼食  昼休憩 | 食糧費（仕出し弁当代） |
| 13時  ～13時30分 | 手順説明（因幡次郎氏） |  |
| 13時30分  ～15時30分 | 調理（混合班）  （因幡次郎氏ら●名による助言） | 報償費・旅費（講師●名分）  需用費（材料費） |
| 15時30分  ～16時30分 | 試食会（混合班） |  |
| 17時 | 記念撮影・閉会 | 需用費（写真代（参加者に配布）） |
|  |  |  |

※記載例を参考に、どの時点でどのような経費がかかるのかおおまかにわかるように記載してください。

※既存資料（日程表、しおりなど）を編集したものを添付して代えても結構です。

３．消費税の取扱について（第４条３項関係）

【交付申請時に記載してください（いずれかに○）】

様式第２号に記載する補助対象経費に消費税等の仕入控除税額を

含む　　　　　　含まない

４．他の補助金の活用について

|  |  |
| --- | --- |
| この事業を行うに際し他の補助金の活用の有無（いずれかに○） | 有　・　無 |
| 「有」の場合はその補助金名等を記載してください。  ・補助金名（　◎◎◎◎補助金　　　　　　　　　　　　　　　）  ・事業内容（　△△の会　お菓子づくり教室　　　　　　　　　　　　　）  ・補助金所管団体名（　　ＮＰＯ法人　◎◎◎◎友の会　　　　）  ・上記の連絡先（　(○○○○) ○○－○○○○　　　　　　　　） | |

※県または他の地方自治体から同事業に対して補助（本補助金を除く）を受けている場合は対象となりません。